



新館棟が完成いたしました。

NEW 伸寿苑 誕生!

介護老人保健施設「伸寿苑」は昭和62年に(当時)厚生省のモデル施設として開設しました。あれから30年、地域状況の変化とともに市民の生活感覚、さらにはケアに対する価値観も変わってきました。こうした中、伸寿苑は市民ニーズに応えるべく新たな時代に向けた施設づくりを行いました。広く地域の皆様のお役に立てるよう今後とも精進して参ります。



**リニューアル
スケジュール**

平成29年10月
新館完成

平成30年2月
本館改修

平成30年5月
全館リニューアルオープン



「NEW 伸寿苑」 運営ポイント

1

個別ケアを目指し、介護単位を小規模化

150 床を 120 床にダウンサイジング

療養生活空間（規模）を 20 名単位と小規模化することで、利用者のさまざまな情報・状態をキャッチし、きめ細やかな個別ケアを目指します。

新館棟は個室と 2 人室、本館棟は従来の多床室（3 人室）で運営します。

個室：9 室 / 2 人室：24 室 / 3 人室：21 室

※本館棟は 2 月オープン

2

プライバシーと自立支援に配慮したケア空間

利用者の生活目線に立ちプライバシーに配慮しました。中でも浴室は全て個室対応、しかも能力に応じ自立浴、チェア浴、機械浴を設備。トイレを増設（4 名に対し 1 つのトイレ）



人工肛門・膀胱造設者へのオストメイト対応トイレも完備。



空間はホワイトを基調とし、明るい雰囲気での療養生活を追及しました。

3

「座って、歩く生活」の追及 …可能性へのチャレンジ



介護福祉士の配置率は 90%、リハビリテーション専門職と協働して日々、「座って、歩く生活」を支援します。

リハビリテーション専門職は 9 名（理学療法士 4 名、作業療法士 3 名、言語聴覚士 2 名）配置し、365 日個別にリハビリテーションを行います。入所から 3 ヶ月間は短期集中リハを週 7 日、認知症短期集中リハを週 3 日実施します。

4

多職種（チーム）で目指す「その人らしい暮らし」の実現

医師、看護師、介護福祉士、リハビリテーション専門職、管理栄養士等の多職種が利用者の自立支援とその人らしい暮らしの実現に向けてチームで取り組みます。

入所中から「人となり」やこれまでの「生き方」を踏まえ、これからの暮らし方を利用者、家族とともに考えていきます。施設長（リハ専門医）による回診を週 1 回実施しています。

5

在宅復帰、在宅生活支援の推進

住み慣れた地域で、その人らしくいきいきとした暮らしを実現するため、在宅復帰、在宅生活支援活動を行います。（利用者の半数近くが在宅での生活を実現しています）

在宅復帰に向けた自宅訪問を行い、家族への助言・提案等を行います。

在宅復帰された方には退所後の訪問にて生活状況を確認し、ショートステイ・デイケア等在宅部門との連携を行います。

